

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	中津川市立落合小学校		
実 施 期 間	平成26年11月7日（金）～12月11日（木）		
実 施 概 要	①保小中PTA合同資源回収（11/16） ②授業参観（11/7） ③防災教室（11/17・27） ④PTAによる読み聞かせ（11/10～11/14） ⑤安全ボランティアの会（11/19） ⑥しめ縄作り（12/11） ※報告時点で計画段階のものも含む		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input checked="" type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input checked="" type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	250 人	計 350 人
	地域関係者	100 人	
実 施 状 況	③防災教室 対象：全校児童、教職員 目的：防災意識を高め、安全安心な暮らしを送るための知識や、大切な自他の命を守っていこうとする気持ちを高める 方法：1～2年生児童への講演を、防災士なかつがわ会、3～6年生児童への講演を、中津川防災市民会議にそれぞれ依頼し、発達段階に合わせた内容で防災意識の高揚を図った。 内容：低学年向きの講演では、紙芝居を使い防災についての基礎知識や命を守る方法などについて学んだ。高学年向きの講演では、プロジェクターで身近な場所を基に、落合地区の川や用水などの映像から水害について理解し、命を守ることの意味と、スキルについて学んだ。		
成 果 及 び 課 題	③防災教室 ○成果 <ul style="list-style-type: none"> ・低学年と高学年、2通りの講演会を企画、実施したことで、よりねらいに迫ることができた。 ・児童の感想には、自他の命の大切さ、命を守る意味が理解できたことが切々と綴られていた。 ▲課題 <ul style="list-style-type: none"> ・低学年向きの講演では、内容がやや難しく、理解することができない児童も見られた。 		